

WRC-15の結果(議題1.1 放送関連)

議題1.1 IMT及び無線LANの追加周波数要求について検討を行い、移動業務への追加分配及びIMTへの特定を検討

<CPMLレポートでの候補周波数帯> ※下線は我が国提案周波数帯

①	470- 694/698MHz	⑤	1492-1518MHz	⑨	3300 -3400MHz	⑬	3800-4200MHz	⑰	5350-5470MHz
②	1350 -1400MHz	⑥	1518 -1525MHz	⑩	3400-3600MHz	⑭	4400-4500MHz	⑱	5725-5850MHz
③	1427-1452MHz	⑦	1695 -1710MHz	⑪	3600-3700MHz	⑮	4500-4800MHz	⑲	5925-6425MHz
④	1452-1492MHz	⑧	2700 -2900MHz	⑫	3700-3800MHz	⑯	4800-4990MHz		

<結果概要>

- 470-698MHzについては、米、カナダ、エジプト、UAE等がIMT特定を支持。欧州、ロシア、アフリカ各国が明確に反対(現状維持を主張)。我が国を含む多数が現状維持を支持。結果として、IMT特定を希望する国内で使用可能となるように、国別特定を行うことで決着。
- **我が国及び隣国(韓国、ロシア)でのIMT特定は行われず、我が国の既存業務(放送業務)が保護される結果。**
- IMT用周波数について、我が国のみが使用している1.5GHz帯については、グローバルバンドとして追加されたが、新たな周波数の確保については、各国の利害が対立し行われなかった。

<WRC-15の結果(470-694/698MHz)> 注:朱書きがWRC-15での追加箇所

第1地域 (欧州/アフリカ/アラブ)	【放送】 IMT国別特定なし → WRC-23で【移動】追加を再検討	694	【放送】【移動】	【 】内は一次業務 ()内は二次業務
第2地域 (北中南米)	【放送】(移動)(固定) IMT国別特定(5ヶ国) バハマ、バルバドス、カナダ、米国、メキシコ	608	【放送】(移動)(固定) 【電波天文】IMT国別特定(7ヶ国) ※1、2	【放送】【移動】 ※1 バハマ、バルバドス、ベリーズ、カナダ、コロンビア、米国、メキシコ ※2 ベリーズ、コロンビア → 移動業務を一次業務へ分配
第3地域 (アジア/大洋州)	IMT国別特定(7ヶ国) ミクロネシア、ソロモン諸島、ツバル、バヌアツ、バングラディッシュ、モルディブ、ニュージーランド	698	【放送】【移動】【固定】 IMT国別特定(10ヶ国) →(26ヶ国)※3	【固定】【放送】【移動】 ※3 日本は698-790MHzの一部周波数帯

<参考:日本での使用状況>

